

市長コラム

しんげの一言メッセージ

市民生活と自治会

広報ほんじょう3月号の市長コラムで「SDGs 達成度 全国10万人未満の都市で本庄市がトップ」と書きました。国連の定めた持続可能な開発目標 SDGs の趣旨に基づき、日本経済新聞社が全国815の市区における、将来にわたる暮らしやすさについて、独自の調査を行った結果です。では本庄市の何が評価されたのか。これはいくつか理由がありますが、市民の自治会への加入率が埼玉県下の市の中で最も高いという点もその一つでした。自治会の加入率が高いということは、地域の相互扶助が働いている現れであり、それはまさにSDGs がうたう「持続可能な地域社会」と言えます。

自治会は住民生活を支える上で大きな役割を果たしています。高齢者の見守りや健康づくり、資源ごみの収集や清掃活動、防犯パトロールや防犯灯の補修、防災活動の実施、学校との連携や青少年の健全育成活動、地元の伝統行事や祭礼、各種イベントの開催など、さまざまな事業を通じて人と人をつなぎ、相互扶助と安全安心の地域づくりを行っています。

今年は自治会長の改選が行われました。自治会長や役員の方々は上記の事業のほか、住民からの苦情や困りごとなど、さまざまな相談ごとに日々お忙しい立場です。本当にお疲れ様です。有難うございます。

このように私たちの市民生活を支える上で自治会は大きな役割を果たしています。しかし近年「私は関係ないから」と、自治会費を納めない、自治会に加入しない方も全国的に増えていると聞いています。いろいろな理由があるのですが、ぜひ地域のコミュニティ組織には地域に住む全ての方々が参加して、民主的に、公正に運営されることが望ましいと私は思っております。

平成の時代、多発した各地の災害現場からは、自治会・町会・学会がしっかりしていたことで二次災害を未然に防げた数多くの例が報告されています。普段から、そしていざという時にも、しっかりとその機能を果たす私たちのコミュニティ組織が、今後とも末永く続いていくことを願っております。

本庄市長 吉田信解

お知らせ

広報ほんじょうに広告を掲載しませんか

募集期間 8月16日(金)まで

(必着)

掲載位置 くらしの情報 Stationのページの最下段

募集枚数 4枚

枠の大きさ おおむね縦52mm

×横86mm

刷色 単色(黒)

広告料 3万円(3号分)

掲載期間 10月~12月

※3号単位で令和2年3月号までの申し込みも可能です。

申込 次の書類を郵送又は直接

接広報課(市役所3階)へ

・有料広告掲載申込書(広報課で配布又は市ホームページからダウンロードしたもの)

・広告の原稿(電子データ)

・業務内容などがわかる書類(パンフレット等)

・申込者が市外の場合、前年度分の市町村民税の納税証明書

郵送先 〒367-8501

また、市ホームページでも聴くことができます。

★広報課 ☎25-1155

※声の広報(録音CD)の貸し出しは、図書館本館・児玉分館・広報課へ。

また、市ホームページでも聴くことができます。

★広報課 ☎25-1155

本庄市本庄3-1-5-3
本庄市役所広報課
※詳しくは、「本庄市有料広告事業取扱要綱」及び「広報ほんじょう広告掲載基準」をご覧ください。広報課及び市ホームページで閲覧できます。
★広報課 ☎25-1155

お見積りは無料ですのでお気軽にお電話ご来店ください!! お待ちしております

三ツ星ウズン

リフォーム・増改築専門店

児玉郡上里町七本木3652-2

0120-72-0084

土・日・祝も営業してます 9:00~20:00

いつもご愛顧賜りありがとうございます

★あきらめていませんか? 障害年金を!!

病気やケガのために日常生活や仕事に支障のある方でお心当たりのある方、障害者手帳をお持ちの方、ぜひ一度ご相談下さい。

障害年金の専門家 社会保険労務士 (初回相談は無料です)

連絡先 本庄市西五十子216-9 倉田和子

TEL 080-1242-7696

URL: http://sr-kurata.com/Message.html



ホストタウン応援コラム Vol.2 「トルコ共和国ってどんな国？」

みなさんメルハバ(こんにちは)!
応援コラム第2弾として、今月は近代トルコの建国についてお伝えします。

~近代トルコの建国~

トルコが今に続く近代国家として誕生したのは1923年のことです。
東ヨーロッパや北アフリカ、西アジアまでの広大な領土を持ち、600年続いたオスマン帝国が、第一次世界大戦敗戦後の1922年、連合国による分割占領に抵抗した末に、現在の「トルコ共和国」が成立しました。

このとき、後に初代大統領に就任するムスタファ・ケマルによる「トルコ革命」によって、他のイスラム世界とは一線を画す独自の国家路線を歩み始めます。

政教分離を断行したほか、トルコ語にはアラビア文字に替りアルファベット(一部独自作成)を当てたり、一夫多妻制を禁止し、女性参政権を実現させました。

このようなトルコの近代化のための政策を多く行ったため、ムスタファ・ケマルはトルコの父(アタテュルク)と呼ばれ、今も国民から敬愛されています。



トルコ建国の父
ムスタファ・ケマル・アタテュルク

埼玉で開催! 1年前イベント ~Tokyo 2020 1 Year to Go!~

東京2020大会を盛り上げるため、1年前イベントが開催されます。オリンピックや著名人などのトークショーや競技体験会のほか、県内のホストタウン相手国のPRブースが展示されますので、みなさんのご来場をお待ちしております。もちろん本庄市のブースもありますよ!

日時 7月20日(土)・21日(日)
午前10時~午後6時
会場 越谷レイクタウン (mori 1階水の広場ほか)
※申込不要、入場無料です。

★オリンピック・パラリンピック支援室 ☎25-1615



首都アンカラには、1944年から9年をかけ建設された、ムスタファ・ケマル・アタテュルクの霊をまつた建物「アタテュルク廟」があり、アンカラのシンボルとして、多くの国内外の旅行者が訪れる観光名所となっています。

写真提供: 駐日トルコ共和国大使館文化広報参事官室 参考: 外務省ホームページ